

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

| | | | | | | |
|---|---|------|-----------|--|------|----|
| 市町村名 | 岐阜市 | 学校名 | 岐阜市立岐阜小学校 | | | |
| 校長名 | 服部 吉彦 | 対象学年 | 全学年 | 人数 | 348名 | |
| 活動名 | ふるさと学習 | | 時間数 | 1年90h、2年90h 3年55h、4年60h 5年90h、6年100h | 継続年数 | 2年 |
| 題材 | ① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [長良川、金華山] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [伊奈波神社、善光寺] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [校区の古い町並み] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [団扇、提灯、鮎菓子] ⑤ 校区にあるお店、そこで働く人々 [亀甲屋、麩兵など] ⑥ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [ふれあいウォーク] | | | | | |
| 複数年継続するための工夫改善 | ○生活科、総合的な学習の時間を中心に「ふるさと学習」のテーマを設定し学習内容を明確にした。また、教科、道徳、特活等とも関連して横断的な取り組みを考えた。 ○ゲストティーチャー（地域の方）の全ての領域と教科での在り方と出場を精選した。 | | | | | |
| <p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールとしての「ふるさと学習」を通して、課題解決の仕方や仲間との関わり方、礼儀、働く喜びなどを学ぶことができる。 ・子どもたちが住む地域の歴史、文化、そこに住む人々から、ふるさとを直に学び、自信や誇りをもつことができる。 <p>2 活動の概要（主な学年、活動等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生生活科「ふるさと探検」の単元では、どこにどんなお店屋さんがあるか、そこでは、どんなものが作られたり、売られたりしているのか。また、そこにいる人はどんな思いで働いているのかなどを直接取材し、情報を収集する。それを最後にはポスターにしてまとめ、お店屋さんを手渡ししながらお礼に行くというカリキュラムになっている。単元の過程では、訪問したお店の方をゲストティーチャーとして授業に招き、まとめたことの発表を聞いてもらい、アドバイスをしてもらう。 ・5年生は、「ふるさとの環境を守ろう」をテーマにして、金華山について金華山サポーターズの川瀬さんに実際に山を登って、説明を受けたり、共に考えたりして、金華山の見所などをまとめ、ガイドブックを作成する。このガイドブックは岐阜公園内の総合案内所に置いて頂いたり、3年生の総合的な学習の時間である「ふるさとまち博士になろう（金華山、岐阜公園、岐阜大仏）」の資料としたりしても使用される。 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この取り組みを行うようになって、岐阜小の子どもたちは地域の方からよくあいさつができること褒めて頂けるようになった。それは、コミュニティ・スクールとしての取り組みの中核でもある「ふるさと学習」の成果であると考えている。子どもたちは、ふるさと学習で地域に出かけていき、地域の方とふれ合い、知り合い、学校には地域の多くの方がゲストティーチャーとして子どもたちに指導をして頂けるので、こうした大人とも知り合いになる。また、10月末に行われる「ふれあいフェスタ」という行事の「ふれあいウォーク」では、その日限りのグループ（家族）を作って6年生がリーダーとなり、地域の方と共に地域を歩き、散策をして、昼には婦人会の方に作ってもらった豚汁を食することで地域の方とも知り合いになる。この結果が、地域の方への挨拶や地域の行事への参加・参画にもつながっている。ちなみに本校6年生の岐阜祭りへの参加は80%、市民運動会には85%、大仏フェスタには70%の子どもたちが参加し、三世代ふれあいフェスタではスタッフとして参画した。 ・6年生の全国学力状況調査のアンケート項目「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。」では、77%の子どもたちが「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えている。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた地域で学び、生活できることに対する感謝の気持ちが芽生えてきた。（別紙参照） ・地域の行事を楽しみにし、進んで参加する子どもが増えている。 ・自然や歴史、文化や伝統などのふるさとのよさを実感し、関わっている人々から生き方を学び、ふるさとを好きになってきている。本校のアンケート調査によると、ゲストティーチャーと学ぶことを楽しみにしている子どもが5、6年生で93%を占め、「ふるさと学習でふるさとを好きになったり自慢できることが増えた。」と答えた子どもは5、6年生で97%を示した。 | | | | | | |